

日本労働年鑑 第58集 1988年版
The Labour Year Book of Japan 1988

特集 「連合」の結成と労働戦線

「連合」の結成と労働戦線

5 同盟

2 「友愛会議」の設立

同盟は、八七年一月の定期大会で決定した「友愛会議」の設立について、同年七月九日の第六七回拡大中央評議会で、その具体化の方針を決定し、一〇月二二日設立総会を開催、一一月二〇日から事務局体制を発足させた。「連合」にただちには引きつげない活動分野をになう組織として設けたものである。この方式は中立労連、総評などの先例となっている。

その内容は、大筋では大会での提案説明を基礎としているが、大会で不安と要望が強かった「政治活動」強化にかかわる措置が明確にされた。たとえば、(1)同盟の政治活動は、友愛会議政治部で継承し、選挙カンパは友愛会議で行う、(2)友愛会議発足後、将来課題として「友愛会議政治連盟(仮称)」について検討を行う、(3)民社党と協力して「民社党と語る会」を設立し、同党の支持基盤拡大に中心的役割をになうなど、民社党との関係の維持・強化が強調されていることである。会費は組合員一人当たり月一〇円、事務局専従者は一〇名とし、同盟書記局の専従者のなかから移ることになっている。

なお、「友愛会議」の役員は、次のとおりである。

議長＝宇佐美忠信(ゼンセン同盟)、副議長＝田中良一(全化同盟)、土井一清(海員組合)、本田廣市(全化同盟)、藤原巖(全金同盟)、有村利範(造船重機労連)、清水春樹(自動車労連)、松田義央(全郵政)片山閑(電力労連)、瀬藤功(鉄労友愛会議)、藤原基司(交通労連)、前川一男(一般同盟)、今井鐘七(全食品同盟)、細川英香(紙パ総連合)、事務局長＝山口義男(自動車労連)

日本労働年鑑 第58集 1988年版

発行 1988年6月25日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

****年**月**日公開開始

■←前のページ 日本労働年鑑 1988年版(第58集)【目次】次のページ→■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)